

## 第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	総務	局	行政	部	行革推進	課
項目	1-1	「事務事業の総点検」の強化				
実施内容	本市の事務事業評価である「事務事業の総点検」については、公営企業会計(水道事業会計・下水道事業会計)や特別会計についても「事務事業の総点検」を導入します。また、事務事業の検証ツールである「事務事業総点検シート」を改訂するとともに、2次点検に外部の専門的視点を活用した評価機能の構築を図ることにより、さらなる評価機能の強化及び事務事業の費用対効果の向上を図っていきます。					
目標	平成26年度 特別会計において「事務事業の総点検」を導入 平成26年度 2次点検における外部の専門的視点の活用 平成27年度 公営企業会計において「事務事業の総点検」を導入					
工 程	当初予定	26年度 ● 事務事業総点検シートの改訂 特別会計も対象とした1次点検の実施(4月～6月) 2次点検における外部の専門的視点の導入(7月～10月) 外部講師による研修会の実施	27年度 公営企業会計も対象とした1次点検の実施(4月～6月) 外部の専門的視点を入れた2次点検の強化(対象事業数の拡大 7月～10月)	28年度 事務事業の総点検(1次点検)の継続実施	29年度 効果的な外部評価の実施	
	進捗状況 (実績・見込)	● 事務事業総点検シートの改訂 特別会計も対象とした1次点検の実施(4月～6月) 2次点検における外部の専門的視点の導入(7月～10月)	公営企業会計も対象とした1次点検の実施(4月～6月) 内部評価・外部評価の仕組みの検討及び再構築	事務事業評価の実施 専門的視点や市民意見を取り入れた外部評価の充実 外部講師による研修会の実施	事務事業評価システムの有用性の向上のための検証及び改善	
実績	(平成26年度) ・事務事業総点検シートの項目を精査の上、シートを改訂した。(4月) ・特別会計も対象とした「事務事業の総点検」(1次点検)を実施した。(4月～6月) ・2次点検に外部の専門的視点を導入した(7月～10月)					
単年度の 効果額見込 及び実績	見込	26年度 14.5億円	27年度 14.5億円	28年度 14.5億円	29年度 14.5億円	
	実績	11.1億円				
評価 26年度	B	課題	・評価の対象事業は拡大したが、内部評価においてはより適切な活動・成果指標の設定を通じ、精度の向上を図る必要がある。 ・外部評価については市民や有識者の多様な意見をより効果的に行政活動の改善に活用する必要がある。			
	B	改善策	・事務事業評価のツールである「事務事業総点検シート」の内容について検証し、改善を行うとともに、事務事業評価マニュアルを見直し、庁内周知等を通じて内部評価の精度を向上させる。 ・外部有識者の意見を聴取し、事務事業評価システムの改善について検討を行い、より有用性の高い内部評価及び外部評価の仕組みを再構築する。			
評価基準	A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成					
備考						